

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

建 物 : 定額法（ただし、平成10年3月31日までに取得した建物については定率法）によっている。

建物附属設備 : 定額法（ただし、平成28年3月31日までに取得した建物附属設備については定率法）によっている。

車両運搬具 : 定額法によっている。

什器備品 : 定額法によっている。

②リース資産・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

③無形固定資産・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。

②退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理によっている。

2. 会計方針の変更

該当事項なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-
特定資産				
退職給付引当資産	421,547,472	0	30,141,334	391,406,138
財政調整基金積立資産	10,906,000	137,997,000	10,906,000	137,997,000
減価償却引当資産	1,529,612,025	135,873,481	162,154,400	1,503,331,106
電算処理システム導入作業経費積立資産	900,000	4,358,500	0	5,258,500
管理運営積立資産	423,988,317	11,143,640	0	435,131,957
ICT積立資産	46,245,000	87,903,000	46,245,000	87,903,000
什器備品	18,695,927	0	8,005,690	10,690,237
建設仮勘定	0	0	0	0
ソフトウェア	9,945,944	0	5,094,211	4,851,733
ソフトウェア仮勘定	0	0	0	0
小 計	2,461,840,685	377,275,621	262,546,635	2,576,569,671
合 計	2,461,840,685	377,275,621	262,546,635	2,576,569,671

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産	-	(-)	(-)	(-)
小 計	-	(-)	(-)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	391,406,138	(-)	(-)	(391,406,138)
財政調整基金積立資産	137,997,000	(-)	(137,997,000)	(-)
減価償却引当資産	1,503,331,106	(-)	(1,503,331,106)	(-)
電算処理システム導入作業経費積立資産	5,258,500	(-)	(5,258,500)	(-)
管理運営積立資産	435,131,957	(-)	(435,131,957)	(-)
ICT積立資産	87,903,000	(-)	(87,903,000)	(-)
什器備品	10,690,237	(10,519,046)	(171,191)	(-)
ソフトウェア	4,851,733	(4,365,626)	(486,107)	(-)
ソフトウェア仮勘定	0	(-)	(-)	(-)
小 計	2,576,569,671	(14,884,672)	(2,170,278,861)	(391,406,138)
合 計	2,576,569,671	(14,884,672)	(2,170,278,861)	(391,406,138)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	83,149,500	72,459,263	10,690,237
ソフトウェア	106,272,242	101,420,509	4,851,733
その他固定資産			
建物	751,734,891	463,837,182	287,897,709
建物附属設備	175,854,245	122,622,045	53,232,200
車両運搬具	1,928,761	1,928,760	1
什器備品	400,594,204	346,136,958	54,457,246
有形リース資産	46,627,280	34,245,188	12,382,092
ソフトウェア	449,771,658	428,159,116	21,612,542
合 計	2,015,932,781	1,570,809,021	445,123,760

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目（会計名）	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金 一般会計	68,025,905	-	68,025,905
未収金 国民健康保険事業関係業務特別会計業務勘定	22,601,764	-	22,601,764
未収金 後期高齢者医療事業関係業務特別会計業務勘定	62,437,419	-	62,437,419
未収金 国保会館事業特別会計	3,186,000	-	3,186,000
未収金 介護保険事業関係業務特別会計業務勘定	27,766,761	-	27,766,761
未収診療報酬等 介護保険事業関係業務特別会計業務勘定	15,456,911	-	15,456,911
未収金 障害者総合支援法等特別会計業務勘定	34,984,100	-	34,984,100
未収金 特定健診・特定保健指導等事業特別会計	23,110,718	-	23,110,718
未収診療報酬等 特定健診・特定保健指導等事業特別会計	78,242,279	-	78,242,279
未収診療報酬等 特別会計国民健康保険等支払勘定	9,006,117,219	-	9,006,117,219
未収診療報酬等 特別会計後期高齢者医療等支払勘定	19,170,841,250	-	19,170,841,250
未収診療報酬等 特別会計介護給付費等支払勘定	10,808,961,509	-	10,808,961,509
未収診療報酬等 特別会計障害介護給付費支払勘定	3,876,072,160	-	3,876,072,160
合 計	43,197,803,995	-	43,197,803,995

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科目・種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
減価償却引当資産（一般） 福岡北九州高速道路債券（10年）	266,064,936	255,874,649	▲ 10,190,287
減価償却引当資産（業務） 福岡北九州高速道路債券（10年）	233,935,064	224,975,351	▲ 8,959,713
減価償却引当資産（業務） 京都府公募公債（10年）	300,000,000	293,040,000	▲ 6,960,000
合 計	800,000,000	773,890,000	▲ 26,110,000

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国民健康保険団体連合会等補助金	厚生労働省	1,705,440	0	600,048	1,105,392	指定正味財産
高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	厚生労働省	19,128,677	0	6,627,834	12,500,843	指定正味財産
国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金	厚生労働省	4,889,974	0	4,889,971	3	指定正味財産
高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金	厚生労働省	339,641	57,190	330,159	66,672	指定正味財産
感染症予防事業費等国庫負担（補助）金	厚生労働省	1,001,434	0	462,200	539,234	指定正味財産
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	厚生労働省	1,478,400	0	369,600	1,108,800	指定正味財産
合 計		28,543,566	57,190	13,279,812	15,320,944	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国民健康保険団体連合会等補助金への振替額	600,048
高齢者医療制度円滑運営事業費補助金への振替額	6,627,834
国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金への振替額	4,889,971
高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金への振替額	330,159
感染症予防事業費等国庫負担（補助）金への振替額	462,200
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金への振替額	369,600
合 計	13,279,812

12. 関連当事者との取引の内容

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容	
						役員の兼務等	事業上の関係
子会社	(株)長崎総合情報センター	長崎市今博多町8番地2	1,295,362,055	国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険等の審査支払電算処理業務等	75%	3名	電算処理業務の委託

取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高 (注2)
受取賃貸料 (注1)	20,433,600	未収金	0
委託費 (注1)	380,726,605	未払金	31,228,309

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注1) 単価その他取引条件は、交渉の上で決定しております。

(注2) 取引金額及び期末残高は消費税等を含めております。

13. 重要な後発事象

該当なし

14. その他の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし